

Pair Letter

ペアレター



いのちを支える
学びのチカラ



～ 病院・地域・次世代をつなぐ
アカデミック活動 ～

講演会「腰痛と足のしびれの基礎知識」／初診WEB予約開始／消防局との協働訓練

外来診療一覧 (R8.1.1現在) 詳細はホームページの各診療科の案内をご覧ください

診療科名		外来表 (一般外来及び予約専門外来)	備考
内科系	内科	糖尿病・代謝・内分泌	一般外来
		リウマチ・アレルギー (完全紹介予約制)	一般外来
		内科	一般外来
			月・火・金曜日休診
	循環器内科	一般外来／ペースメーカー外来	
	呼吸器内科	一般外来	
	消化器内科	一般外来	
	脳神経内科 (完全紹介予約制)	一般外来	
	血液内科 (完全紹介予約制)	一般外来	
	緩和ケア科 (予約制)	診察は外来主治医と相談	
外科系	総合診療科	一般外来	
	皮膚科 (完全紹介予約制)	一般外来	※現在新規患者受入休止中
	化学療法内科 (予約制)	診察は外来主治医と相談	
	外科・消化器外科・乳腺外科	一般外来	
	呼吸器外科	一般外来	火・金曜日休診
	心血管外科 (予約制)	一般外来	
	脳神経外科	一般外来	
	整形外科 (完全紹介予約制)	一般外来／小児整形／成人股・膝・肩・肘関節・手／側弯症／リウマチ	
	形成外科 (予約制)	一般外来	水曜日休診
	眼科 (完全紹介予約制)	一般外来	火曜日休診・木曜日午後休診
小児科	耳鼻いんこう科 (完全紹介予約制)	一般外来	火曜日午後休診
	泌尿器科 (予約制)	一般外来	
	産婦人科 (完全紹介予約制)	一般外来／妊婦健診／不妊外来／NIPT外来	
	歯科口腔外科 (完全紹介予約制)	一般外来	月曜休診 第2・4金曜日午前手術のため院内対応のみ
	小児科	一般外来／小児神経／腎臓／アレルギー／呼吸器／血液／循環器／感染／内分泌	
	小児外科 (完全紹介予約制)	一般外来	月曜日午前休診・水・金曜日休診
	小児脳神経外科 (完全紹介予約制)	一般外来	月・水・木曜日休診
	小児心臓血管外科	一般外来	
	新生児科 (予約制)	一般外来／シナジス外来	月曜日午後・火曜日・木曜日午前休診
	放射線治療科 (予約制)	一般外来	水曜日午後休診 (水曜日午前・木曜日再来のみ)
その他	救急科 (再来) (予約制)	再来患者 11:00～12:00	
	精神科	現在休診中	
	女性特別外来 (予約制)	一般外来	木曜日以外は休診
	禁煙外来	総合診療科外来へ	
特別外来	セカンドオピニオン外来 (予約制)	一般外来	
	助産師外来 (予約制)	産婦人科外来へ	
	ストーマ外来 (予約制)	人工肛門／人工膀胱 (外科・泌尿器科外来または外来主治医と相談)	

松戸市立総合医療センター Matsudo City General Hospital

〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993番地の1
TEL 047-712-2511 (代)

【診療】 月曜日～金曜日 (土・日曜日、祝日、年末年始は休診)
【受付時間】 初診：午前8時30分～午前11時30分※
再診：午前8時～午前11時30分※
※小児科・小児心臓血管外科は11時00分まで

【完全紹介予約制】は、地域の医療機関からの紹介状と事前の受診予約が必要です。
【予約制】は、事前の受診予約が必要です。(6ページを参照)

交通アクセス：有料駐車場有 (418台) 松戸駅・北松戸駅から京成バス千葉・西松戸・馬橋駅・北松戸駅からゆめバス、京成松戸線八柱駅からシャトルバス、旧東松戸病院からシャトルバス



医師
助産師
看護師

超緊急帝王切開 シミュレーション

当院は診療科を越えて
協力し合う“ワンチーム
の体制”が強みです。



産婦人科 副部長 尾崎 江都子
(写真左から2番目)

母体や赤ちゃんの命に関わる「超緊急帝王切開（グレードA）」の院内訓練を実施しました。これは、妊娠中に突然起こり得る常位胎盤早期剥離など、一刻を争う判断が求められる場面で、迅速かつ安全に帝王切開で赤ちゃんを取り出すための対応を確認するものです。

一般的には「30分以内の胎児娩出」が目標とされていますが、当院では平均15分以内と、高い水準で対応しています。今回は、昨年度に整備した新しい連絡フローのもとで行う初めての訓練で、産科・新生児科・麻酔科・救急科・手術室など、多職種が参加しました。シミュレーションでは帝王切開決定から胎児娩出まで11分と、迅速な連携を確認することができました。

訓練後には全参加者を対象に、振り返りアンケートを実施し、各職種ならではの視点で改善点が共有されました。得られた気づきは、連携のさらなる強化につながっています。今回の成果を踏まえ、より正確な連絡体制や無駄のない動き、突発事態への対応力向上を目指して取り組み続けます。



地域医療

地域医療連携セミナー

病院と各機関との
良好な関係づくり
に
取り組みます



地域連携室
室田 勲

当院では、地域の医療機関と共に学び、より良い医療を提供することを目的に、年に2回「地域医療連携セミナー」を開催しています。当院スタッフと地域医療機関の先生方や関係機関の皆さんが直接交流し、情報提供ではなく、「顔の見える連携」を築くための大切な機会です。セミナーでは、診療科の特色や新たな取り組みを紹介し、地域医療の現状も共有します。こうした相互理解を深める場を積み重ねることで、地域全体で連携しやすい関係づくりを進めているのが、このセミナーの大きな特徴です。

当院は今後も、多くの診療科による講演や症例報告など、より実践的な取り組みへと発展させながら、地域医療機関、関係機関との連携をさらに強固なものにできるよう努めてまいります。

第1回「すべての人に「来てよかった」と思われる病院を目指して」

（講演Ⅰ）外科の現状と展望

副院長兼診療局長兼外科系統 竹内 男

（講演Ⅱ）地域基幹病院の整形外科としての展望

整形外科部長 宮下 智大



第2回「当院における小児医療の特徴」

～お父さんが安心して必要な医療を受けられる地域へ～

（講演Ⅰ）神戸市立総合医療センターが地域連携のためにできること

小児脳神経外科部長 田村 剛一郎

（講演Ⅱ）小児外科の現状：地域小児医療における小児外科の役割

小児外科部長 武之内 史子

（講演Ⅲ）当院小児科が地域医療に貢献できることは？

小児科部長兼地域連携室長 鈴木 一広

特集

病院・地域・次世代をつなぐアカデミック活動

いのちを支える、学びのチカラ

より良い医療をつなぐため、私たちは学び続けています。病院内だけでなく地域にも広げる「学びの取り組み」をご紹介します。



研修医

松戸市の医療に
貢献すべく
がんばります！



研修医2年 古川 こと美

研修医はさまざまな診療科をローテーションしながら診療に携わり、医師としての基盤となる経験を積んでいます。それに加え、スキルアップの機会として、各科の先輩医師によるレクチャーが実施されています。今回は、そうしたレクチャーの様子をご紹介します。

上の写真は、救急科の朝レクチャーの様子です。救急科では毎日8時30分から30分間、朝レクチャーが行われています。当院には全身の状態が非常に不安定な患者さんが多く搬送されるため、レクチャーでは、そのような患者さんへの初期対応を、模型を用いたシミュレーションを通して実践的に学びます。特に重症患者さんの場合、救急外来での初期対応は一刻を争います。シミュレーションを重ね、身体で覚えることで、より冷静かつ迅速な対応につながっています。

また、集中治療室（ICU）や高度治療室（HCU）での全身管理をテーマとしたレクチャーも行われています。複雑な全身管理についても、一つ一つの要素を丁寧に学ぶことで理解が深まり、受け持ち患者の診療に活かすことができている。

他の診療科においても、それぞれ特色あるレクチャーが展開されています。小児科では小児の「いのち」の診療や治療、循環器内科では心電図の読み方、代謝内分泌内科では甲状腺疾患への対応など、各科で特に重要となる知識を習得しています。

レクチャーで得た学びを日々の診療に活かし、診療での経験をレクチャーの場で体系的に整理する。この積み重ねが、研修医にとって貴重な学びの機会となっています。今後も向上心をもって研鑽を続け、市民の皆さんの安心につながる医療に貢献できるよう、一歩ずつ成長していきます。

意外と知らない?!

医師免許を取得してからの道のり

医師免許取得	臨床研修【研修医】		専門研修【専攻医】			独り立ち
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目以降
医学部卒業	・内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療が必修。その他も含め、診療科を一定期間巡回（ローテーション）していきます。		・希望する専門領域について深く学び、多くの症例を経験します。			専門医取得試験
	・指導医のもとで患者さんを診察し、治療方針を決めます。		・例えば、内科専門医を希望する場合、内科系の診療科に所属するなど。特定の科のエキスパートである「専門医」の取得を目指します。			
医師としての基礎を身に付けながら、将来どの科に進むかを見極めます。			・専攻医は入院患者さんを受け持ち、外来診療もします。1人で患者さんを診るという点では、専門研修まで進めば独り立ちしていると言えるでしょう。			基本となる専門医の資格を取得しても、それで終わりではありません。例えば、内科の中にも消化器内科や循環器内科、呼吸器内科などとなる専門領域があります。

当院は診療科も多く症例も多岐に渡り、更に三次救急まで対応する為より多くの経験が積めることもあり、研修医募集人数14名に対し、令和7年度は全国から118名もの応募がありました。

日本周産期・新生児医学会認定 新生児蘇生法 (NCPR) を地域に広める

当院では、日本周産期・新生児医学会認定 新生児蘇生法 (NCPR) 講習会を主催し、出生直後の新生児に対する初期対応及び蘇生手技の重要性への認識と技術を深め、出産後に蘇生を必要とする新生児を救命し、重篤な障がい回避できるよう地域の周産期医療の質の向上に繋げる活動を行っています。

当院には、インストラクターの資格を持つ医師や助産師が新生児科と産科に在籍し、さらには、院内でも多職種で講習を受け、安心して出産できる体制の強化に努めています。



「新生児医療は日々進歩です。NICUでは、さまざまなテーマについて随時勉強会を行い医師・看護師とともに知識と技術をアップデートしています。」

世界早産児デー

早く産まれた赤ちゃんたちとご家族が抱える問題や負担に対する意識を高めることを目的に11月17日は世界早産児デーと制定されています。

当院では、紫色のテーマカラーを用いて、病院をライトアップしており、今年度は、外来にブースを設け当院で入院中の赤ちゃんとそのご家族の足形や手形などで成長を応援しました。



附属看護専門学校 「多職種連携活動論」の授業の受入体制

附属看護専門学校の生徒が総合医療センターでの実習を終えたあと、「多職種連携活動論」の授業の一環として、多職種の立場からの患者視点を学ぶ機会を設けています。

薬剤師や理学療法士、栄養士、医療ソーシャルワーカーなど、専門職の立場から、患者さんは何に不安を感じているのか、治療やケアがどう影響してくるのか、身体だけではなく、生活や家族などはどうか。など看護師の立場だけではなく、専門性を踏まえた声を聴き、新たな気づきに繋げ学ぶ機会を設けています。



新生児科 鶴田 志緒

私たちが取り組むNCPRには、大きくわけて二つの場面があります。ひとつは病院の中で行われるNCPRです。これは医師、看護師、助産師など病院職員が学び、資格を持つ人を増やすことで、病院内で生まれる赤ちゃんをより安全に迎えるためのものです。

もうひとつは病院の外でおこなわれるNCPRです。病院外で予期せず出生した赤ちゃんを、救急隊が守り、命をつなぎながら安全に病院へ搬送するための大切な技術です。

赤ちゃんは未来そのものです。病院の中でも外でも、赤ちゃん和妈妈が安心できるように。NCPRをとおして、地域全体で小さな命をやさしく力強く支えていきたいと考えています。



附属看護専門学校3年

実際に多職種の方と関わり、実習では気づくことのできなかった連携の必要性について学ぶことができ、医療職として社会に貢献したいという想いがさらに強まりました。

助産師が小・中学校に訪問！ 命をつなぐ「性教育出前授業」

地域の未来を担う子どもたちに「命の大切さ」を伝えることを目的に、小・中学校に助産師が伺い、講義や体験を通して学校の授業で学んだことをより深く考えるきっかけとなる活動を行っています。



助産師 渡邊 絵里

1/2 成人式を迎える年代の子どもたちが、少しでも生まれた意味、自分の身体のこと、将来のことを考えるきっかけになればという思いでお話しています。

講義では、助産師ならではの専門的知識で、命が芽生える瞬間からお母さんのお腹の中で大切に育てる思い、産まれてくる瞬間の感動を伝え、そして妊婦体験として実際のお腹の重さを体験します。

当院では、今後も学校との連携を強め、子どもたちに命の学びを深める取り組みを継続していきます。

医師・看護師が直接 皆さんの元へ「パートナー講座」

松戸市のパートナー講座のメニューの中に総合医療センターが開催する講座があるのをご存じですか？

サークル活動や町会など10名以上の人数を集めていただいた団体の会場へ、当院で活躍中の専門的知識を有する認定看護師や医師が市民の皆さんの元へ伺い講座を行っています。



ご希望のメニューに応じて講師の日程調整を行わせていただき、ご用意いただいた指定の場所にお伺いしますので、是非お申込みください。

問 病院政策課 ☎047-712-0675

	令和7年度	講座名	※費用無料	講 師
1		“もしも”の時のために“今”始めよう「人生会議」		がん専門看護師
2		糖尿病患者必見！フットケアの重要性		糖尿病看護認定看護師
3		はじめよう！嚥下（えんげ）体操で誤嚥（ごえん）予防！		摂食・嚥下障害看護認定看護師
4		知って安心「認知症」住み慣れた地域でいきいき生活		認知症看護認定看護師
5		すい臓がん、大腸がんなどの消化器がん治療～がん検診の重要性～		副院長兼外科総括部長
6		放射線治療ってどんなもの？		放射線治療科部長
7		子どもの急病時の対応		小児科部長他
8		小中学生とその家族に知って欲しい、「ストレス対策」「生活習慣」「がんと在宅医療」の話～まちっこプロジェクトの概要～		小児科医師

「腰痛と足のしびれの基礎知識」 「嚙下体操で誤嚥予防」

- ◆時 間：13時30分～15時15分（13時開場）
◆会 場：市民劇場（松戸駅西口）
◆定 員：当日先着200名（事前申込不要）
◆内 容 **1部** 13時30分～14時30分

「腰痛と足のしびれの基礎知識」

整形外科 部長 宮下 智大

2部 14時45分～15時15分

「嚙下体操で誤嚥予防」

摂食嚙下障害看護認定看護師 石川 祐希恵

◆申込み：当日会場

◆問い合わせ：病院政策課 ☎047-712-0675

プロフィール

1999年千葉大学医学部卒業後、同大学整形外科勤務。

上都賀総合病院、鹿島労災病院等を経て、2011年5月脊椎脊髄センター所長、2025年4月より現職。

◆専門分野

脊椎脊髄外科

◆資格

日本専門医機構認定整形外科専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本脊椎神経学会認定脊椎脊髄外科専門医・指導医、日本DMAT隊員、統括DMAT 等



宮下 智大 医師



転落現場に向かう医師（赤い袖のジャンパー）と医師の安全確保をする救助隊員（オレンジの服）



クラッシュ症候群の可能性を指摘する医師



訓練後にコメントする村田医師



リアルに再現された訓練現場



当院からは救急科医師2名、救急救命士2名、看護師1名が参加

11/19

連携で守る地域の命——消防局との協働訓練

松戸市消防局と当院が連携し、災害・事故現場で迅速かつ安全に救える体制を高めるため、「消防医療連携訓練」を実施しました。この訓練は2023年から始まり、3回目となった今回は、高所からの転落事故、多数傷病者発生という2つの想定で行われ、「日々連携が深まっている」ことを双方で実感できた訓練となりました。

訓練内容の企画と場面設定は、当院救命救急センター長村田 希吉医師が担当。訓練に参加した消防隊員は「医師が現場に来ることで、よりの確な救出につながった」と手応えを語りました。今回は特に、圧迫解除で全身障害を引き起こす「クラッシュ症候群」への対応を重点的に確認。医師の指示のもと、救出前から点滴を開始するなど、救命につながる手順を細かく共有しました。

訓練後村田医師は「医師も現場では遠慮せず意見を出すことが大切。医療側が判断すべき場面では積極的に指示を出し、確実な処置につなげていきたい」と救急医療に向けた強い思いを述べました。当院はこれからも消防局と協力し、市民の皆さんが安心して暮らせる地域づくりに貢献していきます。



ドクターカー（手前）で出動しました

就 任 の ご 紹 介

小児脳神経外科 部長 田村 剛一郎

船橋市出身。東京大学医学部健康科学・看護学科卒業後、アメリカサウスダコタ大学医学部大学院（医科学修士）修了、筑波大学医学専門学群医学類を卒業し医師免許取得。その後、筑波大学大学院より医学博士号取得。筑波大学附属病院、成育医療研究センター、東京都立小児総合医療センターなどにて小児脳神経外科分野で研鑽を積む。カナダトロント小児病院、アルバータ小児病院で小児脳神経外科臨床フェローシップ修了。茨城県立こども病院脳神経外科医長、筑波大学附属病院脳神経外科病院講師などを経て、2025年10月より現職。

市民に向けて一言メッセージ

脳神経外科の患者、特にこどもの患者さんのために、できることは何でもやらせていただきます。小児の脳神経外科疾患はどんな病気でも対応いたします。困ったことがあればいつでもご相談に乗りますので、当院の外来予約をお取りください。



外来を受診される方へ

診療科により、紹介制や予約制を設けておりますので、受診の際はお電話または診療科のホームページをご覧ください。



初めて来院される方（初診）※1

紹介状をお持ちの方

8:30から11:30まで
（予約のある方は予約時刻の15分前までに）※5

お電話でご予約いただけます

TEL：047-712-0685

受付時間 8:30～17:00

（土・日・祝、年末年始を除く）※2

紹介状のない方 ※3

8:30から11:30まで

※5

初診時選定療養費として

医科 7,700円

歯科 5,500円 } を負担して

いただくことがあります ※4

2回目以降の来院の方（再診）

予約のある方

8:00から予約時刻まで

※5

診察前にマイナンバーカードで

資格情報等の確認をしてください。

マイナンバーカードをお持ちでない方や

公費負担医療を利用する方は、

1階1番受付にご提示ください。

予約のない方 ※3

8:00から11:30まで

※5

再診時選定療養費として

医科 3,300円

歯科 2,090円 } を負担して

いただくことがあります ※4

1階1番受付へお越しください

診察券（お持ちの方）と紹介状、
マイナンバーカード（資格確認書）を
ご提示ください

診察券（お持ちの方）と
マイナンバーカード（資格確認書）を
ご提示ください

1階9番自動再来受付機で受付

診察券をご準備ください

1階1番受付へお越しください

診察券とマイナンバーカード
（資格確認書）をご提示ください

受診科の外来受付へお越しください

問診票にご記入の上、受付票と一緒にご提出ください

受診科の外来受付へお越しください

受診案内票に検査の指示がある方は検査を済ませ、外来受付へ
看護師から指示があった方は、問診票をご記入の上、ご提出ください

診察 及び 検査

待合で、モニターに受付票の受付番号が表示されますので、お待ちください

会 計

1階会計前のモニターに会計番号が表示されたら、3階窓口または10番診療費支払機にてお支払ください
（「医療費」と払いクレジットサービス）もごさいます。詳しくは病院ホームページにてご確認ください。）

※クレジットカードをご利用いただけます。

※1 以前当院を受診した方でも初診になる場合があります

- ・診療を受けていた病気が治癒した後、新たな病気について診療を受ける場合
- ・予約日に受診せず、任意に診療を中止し、一定期間経過した場合

※2 初診の予約方法

- ・かかりつけ医から紹介状を受け取り、患者さんのお電話、またはWEB（一部の診療科）で予約する方法（お手元に紹介状をご準備ください）
- ・かかりつけ医からFAXで予約する方法

※3 状況により他科での受診をお願いすることがあります

※4 4次の場合は選定療養費のご負担はありません

- ・救急車で当院に搬送された方
- ・生活保護による医療扶助の対象となる方
- ・特定疾患など各種公費負担制度受給対象の方
- ・労働災害・公務災害で受診の方
- ・今回受診する診療科は初めてだが、別の診療科に通院中の方

※5 小児科・小児心臓血管外科は8:30から11:00まで

WEBによる初診予約を開始しました

（※一部診療科のみ）

一部の診療科で、紹介状をお持ちの初めて受診される患者さんがWEB上での診療予約が可能となります。

365日24時間予約可能で、予約状況を確認しながら予約取得いただくこともできます。

受診当日は、予約票（メール通知でも可）、診療情報提供書（紹介状）、マイナンバーカード等を持参の上、予約時間の15分前までに総合受付（1.受付）で受付をしてください。



※WEB予約が可能な診療科

（紹介状をお持ちの初診患者さんのみご利用できます）

外科系	小児系
産婦人科（産科のみ）	小児科
耳鼻いんこつ科	小児外科
	小児脳神経外科

診療前に 採血や尿検査が 必要な患者さんへ

採血や尿を採取し、検査結果が出るまでに60分から90分前後かかります。そのため、診療当日の検査結果を基に外来診療を行う患者さんは、診察予約の時間よりもお早めに当院へ来院され、検査をお受けいただけますようお願い申し上げます。